

対象先	有限会社 羽黒あぐり
	新潟市西蒲区羽黒地域の中核的な担い手。圃場整備を契機に2004年に法人を設立し、「羽黒地域の農地を適切に維持管理する組織を目指す」との経営理念のもと、事業を継続してきた。 社員2名に加え、パート従業員27名を雇用し、水稻や大豆を中心に82haを耕作している。 今後も地域の中核な担い手として、近隣農地の受け皿となり、経営面積の拡大が見込まれている。  (中央左：王永取締役、中央右：河井取締役)
担い手コンサルティングの取組	(有)羽黒あぐりは、J A新潟かがやきの提案を受けて担い手コンサルティングを知り、2025年12月より取組みを開始した。計4回の面談の中で、事業の実態把握と財務分析を行い、経営ビジョンや課題について議論を重ねてきた。 面談では、将来的に経営面積が100ha超となる見込みであることから、規模拡大にどう対応するかを最重要のテーマとして整理した。課題解決に向け、経営課題の優先順位を明確化するとともに、3年後の経営シミュレーションを実施し、優先的に対処すべき解決策をJ A新潟かがやきから提案した。 提案した解決策は①収量の向上、②作業効率化によるコスト低減、③採用活動の強化等である。採用については、今後1～2名の正社員採用に向け、就農・就業相談会等のイベントを活用する予定である。 担い手コンサルティングを通して、王永取締役は「的確な数字が記載されている資料はありがたい。試算で3年後の経営状況に到達するための目標が分かった」と語った。 今後、J A新潟かがやきは計画の実行に向け、(有)羽黒あぐりに対して伴走支援を行う。